



ほっこり

甲府市立北新小学校

2015. 9. 28

No. 6

発行：校長室

災害に備えましょう



1923年9月1日に発生した関東大震災にちなんで9月1日（火）に地震発生時の避難訓練を行いました。「揺れがおさまりました」の放送があるまで机の下にもぐり、真剣に身を守っていました。雨のために、避難場所を変更しましたが、話をする児童もなく、指示通りに体育館へ無事に避難することができました。

8月30日（日）には、全市一斉の地区自治会連合会の計画による防災訓練が行われました。防災無線放送を合図に、シェイクアウト訓練（それぞれの居場所で、地震から身を守るための3つの安全行動）の後、本校の運動場に地区の方々が避難してきました。その後、避難人員報告訓練、さらには、2つのグループに分かれて、避難所設営訓練、給水の仕組み、防災倉庫の中に入っている物の確認等が行われました。本校職員もこの訓練に参加しました。



なにもないことにこしたことはありません。でも、自然災害は、いつ起きるか分かりません。その時のためにやはり準備しておく必要があります。県から出された「みんなで備える災害対策～まずは家庭で防災会議～」のリーフレットにもう一度目を向けて、非常持出品・備蓄品チェック表、ハザードマップ、安全に非難するためのチェックシート等を確認してみんなで準備しておきたいものです。備えあれば憂い無しです。よろしくをお願いします。

親子読書カードより

本の題名：いのちのおはなし
書いた人：日野原重明
いっしょに読んだ人：母

<感じたこと>

命やあいさつは大切だと思いました。あいさつは人を元気にする合い言葉だと思いました。命とは自分にとって大切な時間だということを知りました。

<おうちの人から>

命というものを具体的に考えたことがなかったので、とてもうなずける内容でした。自分自身にも、また、子どもにも、自分のために、人のために時間を使い、命を大切にしていきたいです。

本の題名：天使のかいかた
書いた人：なかがわちひろ
いっしょに読んだ人：父

<感じたこと>

さちと天使は、出会っていろいろなことができるようになりました。最後に追いかけてこをしたというところが、心に残りました。

<おうちの人から>

天使さんは本当にいるのかな。〇〇の心の中にいるかも。天使を育ててね。

親子の対話が増えます。読書の習慣が身につくようになります。これからも親子読書を続けて欲しいです。

夏休み作品展 着衣泳に挑戦

9月3日(木)、4日(金)に夏休みの作品展を行いました。夏休みだから取り組むことのできる、たっぷり時間をかけて取り組んだ工作、自由研究、習字等が展示されていました。力作ばかりで、夏休みの学習意欲に感心しました。



水泳の時間の最後に、6年生が、水難事故から身を守ることを目的とした着衣泳に挑戦しました。①服を着たままプールの中に入り、プールから上がる、②服を着たまま泳ぐ、③服を着たまま背浮き、④ペットボトルを使っての背浮き等を経験しました。万が一に備えての練習ですが、とても大事な経験をしました。



授業力養成講座 演劇教室



9月8日(火)に授業力養成講座が開かれ、5年生が家庭科の研究授業を行いました。「めざせ買い物名人」の4時間目の「買い物名人参上」です。林間学校で作るカレーライスの調理に使うじゃがいもを、4種類のじゃがいもからのじゃがいも選んで買うか考えさせ「買い物名人」を目指す授業です。品質、価格、目的を考慮しながら、じゃがいもを選んでいました。研究会では、「児童が学び合っている」「友達の意見をもとに、自分の考えを深めている」「活発な子どもたちである」等の意見が出されました。最近耳にする言葉のひとつに「アクティブラーニング」があります。課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習です。今回の授業も児童が主体的に協働的に学んでいました。このような授業を常に心がけていきます。



9月16日(水)に演劇教室が開催されました。今年是人形劇団ひとみ座による「美女と野獣」です。劇とは違う人形劇の演出に引き込まれていました。



わたしの願い

6年 森 琴音

わたしは しゃべれない 歩けない
 口が うまく うごかない
 手も 足も 自分の思ったとおり うごいてくれない
 一番 つらいのは しゃべれないこと
 言いたいことは 自分の中に たくさんある
 でも うまく 伝えることができない
 先生や お母さんに 文字盤を 指でさしながら
 ちょっとずつ 文ができあがっていく感じ
 自分の 言いたかったことが やっと 言葉に になっていく
 神様が 1日だけ 魔法をかけて
 しゃべれるようにしてくれたら…
 家族と いっぱい おしゃべりしたい
 学校から帰る車をおりて お母さんに
 「ただいま！」って言う
 「わたし、しゃべれるよ！」って言う
 お母さん びっくりして 腰を ぬかすだろうな
 お父さんと お兄ちゃんに 電話して
 「琴音だよ！ 早く、帰ってきて♪」って言う
 2人とも とんで帰ってくるかな
 家族みんなが そろったら みんなで ゲームをしながら おしゃべりしたい
 お母さんだけは ゲームがへたやから 負けるやろうな
 「まあ、まあ、元気出して」って わたしが 言う
 魔法が とける前に
 家族みんなに
 「おやすみ」って言う
 それで じゅうぶん

事故の後遺症で言葉を失った琴音さんの詩です。何気ない日常がどれだけ幸せか家族で話し合ってみてください。